

3. 2 教育体制・産業界ニーズ 把握体制の整備・連携推進

3. 2 教育体制整備・産業ニーズ把握体制の整備・連携推進

教育体制整備については、全学をあげての組織「あり方検討委員会」を立ち上げ、カリキュラムの大枠から詳細な開講科目に至るまで詳細に検討した。

その結果に基づき、平成26年度からカリキュラム改訂を実施する予定である。

カリキュラム検討の際には、地元の有力企業・組織を訪問し、本学の卒業生に対するニーズについてヒアリングを実施し、その結果をカリキュラム改訂に反映させた。

産業ニーズを把握するやり方は、例年5月以降に、本学卒業生を採用してくれた企業をキャリアセンター教職員が訪問し、卒業生の状況を聞くようにしている。この訪問結果を、本学の社会人基礎力養成に活かす仕組みを強化しつつある。

●平成24年度の他大学との連携活動

中部圏申請事業の採択以降の活動である。毎月1回のチーム会議開催を定例としてきた。

- 10月26日 第1回東海Aチーム（教育力強化）会議
- 11月17日 中部地域大学グループ全体会議（全体の取組方針、意見交換）
第2回東海Aチーム（教育力強化）会議（チームとしての達成目標と評価基準）
- 12月7日 第3回東海Aチーム（教育力強化）会議（連携FDの計画）
- 1月17日 第4回東海Aチーム（教育力強化）会議（各大学の取組紹介、意見交換）
- 2月8日 東海Aチーム連携FD「アクティブラーニングを活用した教育力の強化」
- 2月9日 東海Bチーム連携FDの参観
- 2月19日 中部圏産学連携会議（産業界との対話、各大学取組紹介、分科会）